

信夫山の資源を活かした まちづくり検討委員会

第2回検討委員会

令和元年12月20日（金）

目 次

- 1 第1回委員会の振り返り
(信夫山の課題の整理)
- 2 信夫山の資源の保全について
- 3 信夫山の資源を活用した
交流創出について
- 4 今後のスケジュール



1 第1回委員会の振り返り (信夫山の課題の整理)

- (1) 信夫山の周知に関すること
- (2) 信夫山の保全に関すること
 - ① 緑と風景
 - ② 歴史的・文化的な資源
- (3) 観光・交流機能等に関すること
 - ① 資源を活用した交流創出
(自然・歴史・文化的資源)
 - ② レクリエーション機能
 - ③ 役割分担と連携
- (4) 防災機能に関すること
- (5) その他



意見について

■ **委員**からの意見

- ・ 第1回委員会で出た意見
- ・ 第1回委員会の後に意見書として出た意見

■ **市民**からの意見

- ・ 福島市ホームページで委員会資料等の公表と併せて募集した意見

(1)信夫山の周知に関すること



■ 委員からの意見

- ・ 以前から信夫山の議論がなされているが何も成し遂げられていない
- ・ 行く機会が無くなった
- ・ 若い世代が信夫山へ行かない
- ・ 震災後子供が登る機会が無くなった
- ・ 豊かな資源が知られていないので、信夫山を知ってもらうことが必要
- ・ これからを担うのは若い世代
- ・ 集落には子供がいなくなった
- ・ イベント等を通じ信夫山を知ってほしい
- ・ 信夫山の放射線量を正確に知らせる必要がある

(1)信夫山の周知に関すること



■ 市民からの意見

- ・福島市のシンボルではあるが、みなあまり関心がない（若い方ほど・・・）
- ・観光的な要素がなく、県内・外にも知られていないただの里山
- ・環境保護、あるいは開発について市民に情報がなく、コンセンサスを得る場がない。そのため、散発的な開発や改善が行われているが、反対の意見も出てくる
- ・ジブリと連携すれば歩く人も増え健康増進につなげられる
- ・駅から信夫山へ向かうシンボルストリートを作成

▶ 素晴らしい信夫山(御山)を守り育てて行くため、望ましい姿は

(2)信夫山の保全に関すること

①緑と風景



■委員からの意見

- ・ 駅から見えるため、来街者の目に入りやすく登りたいと思わせる山である
- ・ 自分のまちを見下ろせる最高の展望台
- ・ 本来の植生が維持されていない場所がある
- ・ 下草刈りなどをする人がおらず自然環境が悪化している
- ・ 畑の除草等は、個人所有のため独自にできない
- ・ 絶滅危惧種の蝶もいるはずであり、自然のままの姿を残すことが重要
- ・ 貴重な自然環境を失うことのないよう配慮することが重要
- ・ 信夫山の柚子を復活させたい

(2)信夫山の保全に関すること

①緑と風景



■市民からの意見

- ・豊かな自然環境が十分に活かされていない
- ・貴重な自然資源である森林は、かなり荒廃している
- ・自然の保全
- ・自然環境の荒廃が進み、保安林としての機能維持が問題
- ・自然と不調和な開発があり、景観に合っているか疑問
- ・ゴミ・飲料缶などが散乱し、特に車で利用できる範囲のゴミが目立つ

- ▶人口が減るなか、森林・農地並びに眺望などの魅力的な資源が荒廃して行く
- ▶不法投棄も発生している

(2)信夫山の保全に関すること

②歴史的・文化的な資源



■委員からの意見

- ・古くから信仰の対象であり、このことを基本に考えることが必要
- ・古来より信仰の山として「御山」と呼ばれていた
- ・元禄時代の絵図と今の形が変わらないことは誇るべきことである
- ・月山で国宝級の出土品があった。現在県立博物館（会津若松市）にあるが福島市に持って来たい
- ・山の北側にも歴史のあるところがたくさんあり、北側からの連携も考える必要がある
- ・自然・歴史・景観等についての専門的な検討が必要なのは

(2)信夫山の保全に関すること

■市民からの意見

- ・どのように歴史的・文化的な資源等を保全するのか
- ・「歴史文化保存活用区域」として認定し、計画（歴史文化基本構想）策定を望む

②歴史的・文化的な資源



▶ 貴重な資源がたくさんあるが市民の関心が薄い、忘れ去られるおそれがある

(3)観光・交流機能等 に関すること

①資源を活用した交流創出
(自然・歴史・文化的資源)



■委員からの意見

- ・ イベント等が開催しにくい（駐車場不足、露店出店料が高額等）
- ・ 規制緩和等によるイベントを開催しやすい条件づくりが求められる
- ・ 魅力あるものを創り上げることが必要
- ・ イベントに人は集まるが、楽しみがないとリピーターが来ない
- ・ 若い人向けのP.R.が必要
- ・ 信夫山全体を自然・歴史公園とする

(3)観光・交流機能等 に関すること

①資源を活用した交流創出
(自然・歴史・文化的資源)

■市民からの意見

- ・多くの歴史・文化資源が十分に活かされていない
- ・「歴史文化保存活用区域」として認定し、計画（歴史文化基本構想）策定を望む
- ・定番スポットの整備
- ・公園センター等の整備(歴史・イベント・観光案内・資料館・カフェ・駐車場など)

▶資源を活用したイベントの企画や開催をしやすい環境整備の検討

(3)観光・交流機能等 に関すること

②レクリエーション機能



■委員からの意見

- ・道路の舗装が滑りやすい
- ・勾配が急で歩きにくい
- ・階段等の整備が求められる
- ・現状における施設等に不足している物の最低限の整備を検討すべき
- ・展望台に行きにくいだが、道路を作ることには反対
- ・羽黒神社への別ルート(大型車)の検討
- ・駐車場は信夫山公園外に設け、徒歩で散策できる安全な散策路の整備配置を検討
- ・エスカレータ設置等も検討してほしい
- ・遊歩道を歩く外国の方も目にする

(3)観光・交流機能等 に関すること

②レクリエーション機能



■市民からの意見

- ・ 観光的な要素がなく、県内・外にも知られていないただの里山
- ・ 他都市のような都市公園
- ・ 都市公園らしく整備、管理を望む
- ・ 公園センター等の整備(歴史・イベント・観光案内・資料館・カフェ・駐車場など)
- ・ 羽黒神社の参道ルート、境内等の整備
- ・ 定期的なイベントの実施

▶公園内に交流施設、トレッキングコース(観光・参拝ルート)の検討

(3)観光・交流機能等 に関すること

③役割分担と連携



■委員からの意見

- ・ イベントを開催しやすい環境づくり
- ・ 規制緩和による空き家の活用(お店など)
- ・ 墓参りの路上駐車で近隣は通行に苦勞

■市民からの意見

- ・ 多くの歴史・文化資源が十分に活かされていない
- ・ 「歴史文化保存活用区域」として認定し、計画（歴史文化基本構想）策定を望む
- ・ 定番スポットの整備
- ・ 公園センターの整備(歴史、イベント、観光案内、資料館、カフェ、駐車場など)

▶ イベント開催や資源の活用において官と民の役割の整理と連携

(4)防災機能に関すること

- ・ 森林や農用地
- ・ 土砂流出等の災害防止
- ・ 公園の防災機能

■ 委員からの意見

- ・ 人口減少による周辺環境の手入れ不足
- ・ 下草刈りなどをする人がおらず自然環境が悪化
- ・ 松枯れに加え、檜枯れの被害による倒木
- ・ 柚子出荷停止による柚子畑の荒廃
- ・ 人目につかないために起こる不法投棄が発生
- ・ (例)文化センターが一時避難所に指定されているようだが、機能を果たしているのか疑問

- ▶ 自然環境を保全することで森林や農地のもつ防災機能が維持できる
- ▶ 公園の持つ防災機能の向上と災害時の案内・誘導の検討

(5)その他

- ・信夫山へのアクセス
- ・周辺との連携

■ 委員からの意見

- ・ 駅から見えるため、来街者の目に入りやすく登りたいと思わせる山
- ・ 街なかからの案内(案内板・移動手段)
- ・ 県立美術館、県立図書館、文化センター、花の写真館などの周辺文化施設との連携が期待できる
- ・ 北側からの連携も考える必要がある

■ 市民からの意見

- ・ 案内サインが不足し、不統一で分かりにくく、汚損している
- ・ 統合的な管理がされていない
- ・ 観光地感のあるサインの作成
- ・ 大平寺岡部線の早期実現と川のある景色の改善
- ・ 入口へバス停を設置
- ・ シンボルストリートの作成

▶信夫山へのアクセスと周辺との連携の検討

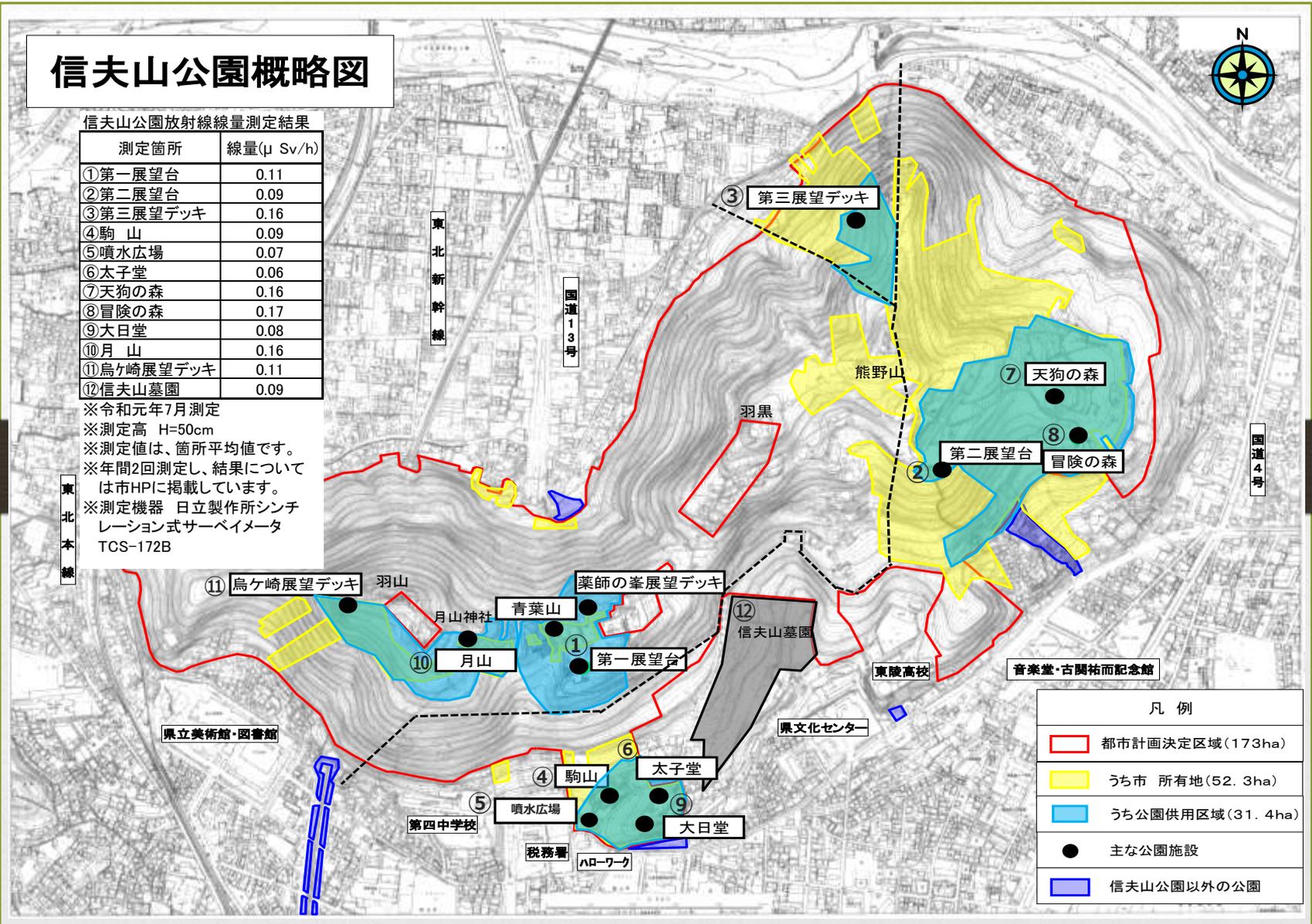
放射線量の状況

信夫山公園概略図

信夫山公園放射線量測定結果

| 測定箇所 | 線量(μ Sv/h) |
|-----------|-----------------|
| ①第一展望台 | 0.11 |
| ②第二展望台 | 0.09 |
| ③第三展望デッキ | 0.16 |
| ④駒山 | 0.09 |
| ⑤噴水広場 | 0.07 |
| ⑥太子堂 | 0.06 |
| ⑦天狗の森 | 0.16 |
| ⑧冒険の森 | 0.17 |
| ⑨大日堂 | 0.08 |
| ⑩月山 | 0.16 |
| ⑪烏ヶ崎展望デッキ | 0.11 |
| ⑫信夫山墓園 | 0.09 |

※令和元年7月測定
 ※測定高 H=50cm
 ※測定値は、箇所平均値です。
 ※年間2回測定し、結果については市HPに掲載しています。
 ※測定機器 日立製作所シンチレーション式サーベイメータ TCS-172B



| 凡例 | |
|--|------------------|
| | 都市計画決定区域(173ha) |
| | うち市 所有地(52.3ha) |
| | うち公園供用区域(31.4ha) |
| ● | 主な公園施設 |
| | 信夫山公園以外の公園 |

2 信夫山の資源の保全 について

- (1)自然・歴史的・文化的な資源等の保全
- (2)緑と風景の保全



(1) 自然・歴史的・文化的な資源等の保全

▶ 貴重な資源がたくさんあるが市民の関心が薄い、忘れ去られるおそれがある

-
- ・ 知ってもらうには？
調査、学習
 - ・ 自然・歴史的・文化的資源を保全するには？
どのように保全していくか（例：生態系、史跡、伝承など）
 - ・ 来てもらうには？
情報発信、機会の創出、史跡の整備
 - ・ 来るためには？
何で来る？来たときに何が足りない？
 - ・ 信夫山の担い手である子供たちの参加

～視点「知る・学ぶ・来る」～

(1) 自然・歴史的・文化的な資源等の保全

「考え方」

- ①豊かな自然や美しい森林、希少な動植物、信夫山の宗教・民俗信仰にかかる貴重な文化資源の保全が必要。
- ②保全すべき資源である自然、歴史、景観等について、市民参加による専門分野での検討が必要。

(2) 緑と風景の保全

- ▶人口が減るなか、森林・農地並びに眺望などの魅力的な資源が荒廃して行く
- ▶不法投棄も発生している

-
- ・市街地からの眺望に配慮した森林を保全するには？
どこから信夫山を見るか
 - ・展望台からの眺望に配慮した森林を保全するには？
信夫山からどんな景色を見たいか

～視点「見る・見える・すごす」～

(2) 緑と風景の保全

「考え方」

四季折々の彩を見せる信夫山は、積極的な森林の保全により良好な眺望景観の維持が必要。

3 信夫山の資源を活用した 交流創出について

- (1) 自然・歴史的・文化的な資源を活用した交流創出
- (2) 信夫山の防災機能の充実
- (3) 信夫山へのアクセスと連携



(1) 自然・歴史的・文化的な資源を活用した交流創出

- ▶ 資源を活用したイベントの企画や開催をしやすい環境整備の検討
- ▶ 公園内に交流施設、トレッキングコース(観光・参拝ルート)の検討

-
- ・ イベントを開催するには？
 - ・ イベントに参加するには？
 - ・ 市民が独自に行っている取り組みの促進
 - ・ 信夫山を知ってもらうため、魅力を高めるためのイベントとは？
 - ・ 放射線量の公表方法を検討

～視点「集い楽しむ信夫山」～

(1) 自然・歴史的・文化的な資源を活用した交流創出

「考え方」

- ① 自然・歴史的・文化的資源とその周辺環境を含め総合的に活用し、多様な機能を持つ信夫山の魅力を高めるとともに、市民や観光客の利用向上が必要。
- ② 観光・レクリエーション機能の整備にあたり、官民が連携し役割分担を行い交流を創出することが必要。
- ③ 緑の拠点として、身近な自然とふれあえる遊歩道や公園における施設の更新等により質の高いレクリエーション機能の充実が必要。

(2) 信夫山の防災機能の充実

- ▶ 自然環境を保全することで森林や農地のもつ防災機能が維持できる
- ▶ 公園の持つ防災機能の向上と災害時の案内・誘導の検討

-
- ・ 道路、広場等への倒木をどうするか？
 - ・ 地震、火事の際の公園利用者をどうするか？（避難誘導）
 - ・ 危険個所の周知、安全対策

～視点「いつも安心な信夫山」～

(2) 信夫山の防災機能の充実

「考え方」

- ①自然災害による被害を未然に防止するため、森林や農用地等のもつ防災機能等などの多面的な機能が持続的に発揮される土地利用に努めることが必要。
- ②土砂災害危険箇所や避難経路などを表示し迅速かつ安全な避難を促すとともに土砂災害流出等の災害防止に努めることが必要。
- ③公園の避難所としての防災機能の充実が必要。

(3) 信夫山へのアクセスと連携

▶ 信夫山へのアクセスと周辺施設との連携の検討

- 街なか（駅周辺）や御山地区等との連携
 - ・ どうやって行く？
信夫山への案内
 - ・ 何で行く？
歩いて、自転車、車(自家用車・公共交通)

■ 周辺施設との連携

～視点「楽しみながら信夫山へ」～



信夫山へのアクセス（入り口）

歩行者専用

自動車・歩行者通行可



北登拝路口



国道13号

七曲坂登拝路口

東登拝路口



森合から信夫山へ

烏ヶ崎展望デッキ

第一展望台

東陵高校

| 凡例 | |
|---|------------------|
| | 都市計画決定区域 (173ha) |
| | 市 所有地 (52.3ha) |
| ● | 主な公園施設 |
| | 信夫山公園以外の公園 |
| | 市道 (管理: 道路管理課) |
| | 園路 (管理: 公園緑地課) |

県立美術館・図書館

県文化セ

駒山

本登拝路口

第四中学校

養山登拝路口

税務署

ハローワーク

本参道



～ 周辺施設との連携・取り組み例

メロディバス ～



4 今後のスケジュール

第3回信夫山の資源を活かしたまちづくり検討委員会について

日時：1月29日（水）13：30～15：30

場所：福島市役所4階 庁議室

内容：①第2回委員会の振り返り（資源の保全と活用）
②方向性について
③街なかの取り組みと信夫山との連携について